



第178回企画展

出羽国設置 1300年記念展

城輪柵跡



期 間

9月28日(金)～11月25日(日)

開館時間

午前9時～午後4時30分

休 館 日

展示期間中無休

入 館 料

一般100円、学生50円
(小中学生は土曜・日曜無料)

酒田市立資料館
SAKATA CITY MUSEUM

酒田市一番町8番16号
TEL 0234-24-6544

和銅五年(712年)九月二十三日 於是始置出羽国(是に始めて出羽国を置く) ——『続日本紀』

出羽国は712年(和銅5年)、東北支配を進める大和朝廷によって建置されました。はじめ庄内に置かれた国府は、733年(天平5年)に秋田村高清水岡(秋田城)へと前進。その後、強引な政策に土着民が激しく抵抗し、国府は南の河辺府に撤退します。河辺府は出羽郡井口と推定され、城輪柵が政庁跡として确实視されていますが、まだ謎も多く、今後の調査・研究で全容が明らかになることが期待されています。

今回は、出羽国の守り神として崇められてきた鳥海山大物忌神社や、奈良・平安期の遺跡に関する資料などを展示します。いにしへの庄内の姿を思い描きながら、ご覧いただければ幸いです。

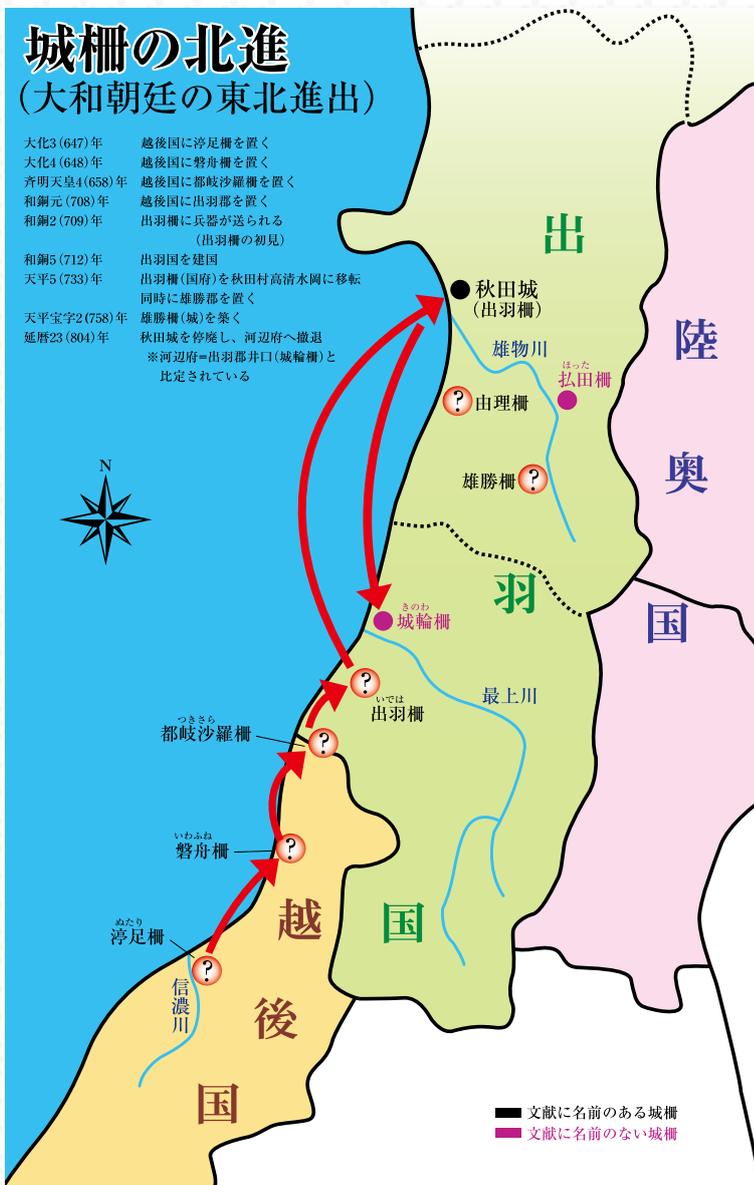


鳥海山頂の大物忌神社本殿(年代不明)



墨書土器(城輪柵跡出土)

資料協力(五十音順): 秋田市教育委員会、えみし学会、柿崎好春氏、玉川寺、酒田市立光丘文庫、佐藤清人氏、鳥海山大物忌神社、鶴岡市教育委員会、東北歴史博物館、不二軒、山形県埋蔵文化財センター



城柵の北進(大和朝廷の東北進出)



秋田城政庁第I期復元模型

当館調査員による展示解説

日時 10月13日(土) 午前10時～
10月28日(日)

※申し込みの必要はありません。
※開始時間までに1階展示室においでください。